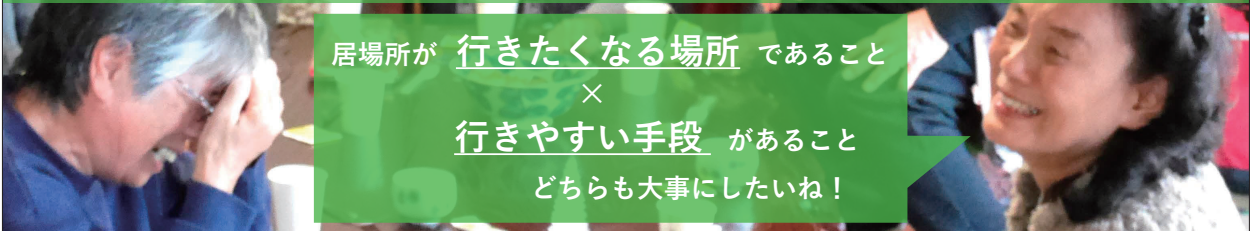


人口約38,000人、高齢化率約31%、居場所38ヶ所… 小さな？町の住民による「おでかけサポート」の取組み

ニーズが高い移動支援。訪問型サービスD対象事業、買い物支援といった側面も併せ持つ居場所送迎「かなみおでかけサポート」を一つの方法としてご紹介しました。

2019/9/9・10 いきがい・助け合いサミットin大阪

人口約38,000人、高齢化率約31%、居場所38か所… 小さな？町の住民による「おでかけサポート」の取組み (静岡県 函南町：かなみちょう) 中村 美那子



居場所が 行きたくなる場所 であること
×
行きやすい手段 があること
どちらも大事にしたいね！

目的：支えあい活動を連動させ、気持ちのある方が生きる場をつくる



背景 / 支えあい活動の行く手に“移動が困難”な状況が待ち受ける
外出自体がニーズ!?

平成28年度住民向けニーズ調査
世帯構成とニーズの関係性を見たところ…
「外に出る必要がある」ニーズが上位4/10件
(通院、買い物、ゴミ出し、外出そのもの)

介護保険、総合事業から自立になる方

ヘルパー・サービス利用終了者が増えていく
→ 高まるボランティアの必要性
ボランティアができることと、ニーズの開き

運転免許自主返納事業(行政)など

返納した後は、どうやって出かけたら??



課題 / 活動中の居場所を中心にした、支えあいの機能強化が必要

居場所へ行きたいけれど、
手段がない人の存在

- ①そもそも、居場所がなかったり人口集中エリア(約75%)と山間地の差
- ②あっても、難しい人がいる坂道×階段×杖歩行では?送迎があったからデ-サービスに行けた方

買い物に困る人が多いんだよ

包括等から…

何か役に立ちたい、
意欲が生きる方法探し

- ①運転ボランティア養成講座の実施
ニーズ調査を基に、住民参加の移動支援を検討
- ②生活支援ボランティアの活動内容拡充
養成後、活動に結び付いていない方

方法 / 居場所送迎×買い物ツアー=新たなボランティア活動の創出

かなみおでかけサポート事業

(総合事業:訪問型サービスD対象事業)

*登録不要

社協車両を使用した居場所への送迎
(運転/同乗の2名ボラ体制で運行)

希望者は 居場所 ⇄ 買い物ツアー
→ 地域ニーズ充足方法の一つへ



①男性ボランティアの活躍

おでかけサポート運転ボラの中心は男性シニア

②養成後未活動ボラのやる気復活
おでかけサポート同乗ボラ

生活支援ボラの活動メニューが新たに
加わったこれならできそう!と活動を
始めた方が増加!



今後の期待 / 居場所がもっと身近で、当たり前にある存在へ

「行きたい」「やりたい」という気持ちが生きる、だから居場所もボランティアも活発になれる

居場所	行きたくなる場所
送迎	行きたくなる動機の一つ
参加者	内容の充実はやる人次第

課題: おでかけサポート事業の拡充

- ①現状、移動支援に取り組んでいるのは社協のみ。車両・対応人数に限界有!他法人の参加に向けた取組みが必要。
- ②安全性の向上のため、研修企画をボラと検討中。

